



# 自分を磨き、器を広げることが、もつとも重要だと考えています

マロニ工建築賞など数え切れないほどの受賞歴を持つ株式会社安藤設計。現在は代表取締役会長を務める安藤英夫さんが、昭和54年に設立した同社は、現在栃木県を代表する建築設計事務所の1つとして、幅広いジャンルで活躍しています。

2013年度 栃木県  
マロニ工建築優良  
賞などを受賞した  
南高根沢ひばり保  
育園（施設内部）

## 創

業以来35年以上の歴史を持つ(株)安藤設計。数々の賞を受賞し、公共建築物から商業施設、住宅まで、幅広く手がけています。また安藤会長はまちづくりにも積極的に取り組んでおり、県内キーマンの1人です。

「この経営理念は、20年くらい前に作りました。平成4年に現在の本社社屋を建てたのですが、その時に、併せて会社組織の方針もきちんと定めたいと考え、当時自分が考えていたこと、目指していたことなどを表現しました」

苦労しましたよ、と笑う安藤会長。7項目の社訓も定め、会社が目指す理想を、はっきりとした文言で描き出しています。特に力を入れたのが「自立

したプロの集団」ということ。安藤会長は「社員を組織の歯車にしない」ということを強調します。「1人ひとりが、人間として自立した存在であることが大切です。建築についてもプロであるのはもちろんですが、トータルな人間性の充実が不可欠です」建築のことだけ詳しくても一般常識に欠けているようではダメ。お客さまからいただく仕事にふさわしい人間性を身につけてほしい。安藤会長は、社是にそんな想いをこめていきます。

同社には他に「設計理念」というものがあります。「建築という創造活動を通じて社会貢献を図ります」「地球環境との共生を積極的に目指します」「時を越え未来の礎となる社

会資産の形成を目指します」という3項目には、建築というものの社会性、地域社会における重要性を認識する大切さが表現されています。

「だからこそ、自分を磨くことが重要です。自分の目だけではなく、例えば同僚やクライアントなど、他者の意見も受け入れる度量を持つことです。特に、クライアントとのコミュニケーションがきちんとできなければ、納得していただける仕事はできません。そして、自分の器を、常に意識して大きくしていかなないと、必ず行き詰ります」

安藤会長が建築士を志した理由を次のように話してくれました。「ゼロから作り出せる楽しさや、多くの人に見ていただける喜びですね。普通の芸術作品と比べると、建築ははるかに多くの方々に見て

いただき、使っていただけます。それは怖いことでもありますが、大きな喜びでもあります」

同社の社員は、現在21人。そのうち17人が建築士です。まさにプロ集団と言っているでしょう。

「毎週1回、月曜日に朝礼を行います。ここで現在関わっている仕事の状況などの連絡や情報提供を行なうとともに、経営理念に関わる話もします。他には、折に触れてサジェスションをしていますね。仕事自体は、あまり制約をつけず、自由にやらせてもらっています。ポイントことにきちんとチェックをしますが、自主独立の精神を持つてもらいたいことが大切だと考えています。その中で、それぞれが経験を積み、成長してほしいと願っています」

### 経営理念

1. 我々は、建築と言う創造活動を通じて社会に貢献し、お客様を満足させ得る集団を目指す。
2. 我々は、自己管理・自己責任・自己追及をし、自立したプロの集団を目指す。
3. 我々は、社会的貢献と、個人の目的を両立させ得る集団を目指す。

### Information

株式会社安藤設計  
代表取締役会長 安藤 英夫  
代表取締役社長 安藤 寛樹  
設立/昭和54年1月  
所在地/宇都宮市山本1-3-14  
☎ 028-625-2875  
☎ 028-625-3815  
http://www.ando-sekkei.jp



株式会社安藤設計  
代表取締役会長 安藤 英夫氏